märklin digital

日本語

取扱説明書

Mobile Station

60653

目次

	ページ
Mobile Station	
モバイルステーション	3
接続	3
メニュー、ファンクションボタン	4
言語選択	4
機関車登録、設定	
運転、ファンクションボタン	5
機関車カード登録	5
mfx機関車登録	6
機関車検索登録	6
データベース登録	7
マニュアル登録	8
機関車設定	13
キーボード	
アクセサリ制御、ファンクションボタン	11
アクセサリプロトコル (制御方式)	11
キーボード	12
メニュー	
インフォメーション	18
リセット	18
Central Station	
接続	19
登録機関車の呼出し	20

以下のマークの付いた項目については、マークのデジタル方式**のみ**の使用に適用されます。

Ⓜ = メルクリン モトローラ/mfx のみ

DCC = DCC のみ

この取扱説明書は製品の一部です。取扱説明書は大切に保管してください。
また、譲渡するときも製品と一緒にしてください。

Gebr. Märklin & Cie. GmbH
Stuttgarter Str. 55-57
D-73033 Göppingen
www.maerklin.com

www.maerklin.com/en/imprint.html

124256/0210/HaEf

内容は予告なく変更されることがあります。
© Gebr. Märklin & Cie. GmbH

Mobile Station

モバイルステーションは、鉄道模型用コントローラであり、
H0/N/1番ゲージの運転制御ができます。

モバイルステーションの特徴：

- デジタル制御方式： Märklin Motorola, mfx, DCC （NMRA/NEM準拠）
- 機関車アドレス (Ⓜアドレス 1 - 255, DCC 1 - 9999)
- mfx機関車運転 (自動登録)
- 機関車デコーダーのプログラムが可能
- 10台分の制御可能な機関車リスト (直接制御) + 1台分の機関車カード
- 1,000台分の機関車データベース
- キーボード：(アドレス 1 - 320)

モバイルステーションを運転するためには、以下の機器が必要です：

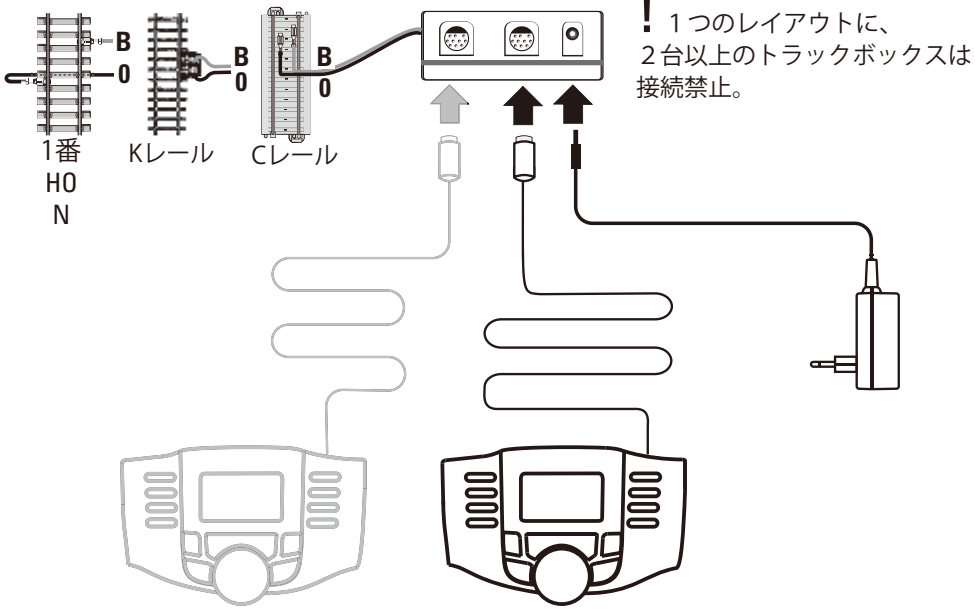
- トラックボックス 60113 (H0/Nゲージ用) 又は トラックボックス 60112 (1番ゲージ用)
- トランス 又は ACアダプタ

又は

- セントラルステーション 60213、又は 60214 との接続
- アダプタケーブル 60124 を介してのターミナル 60125 との接続

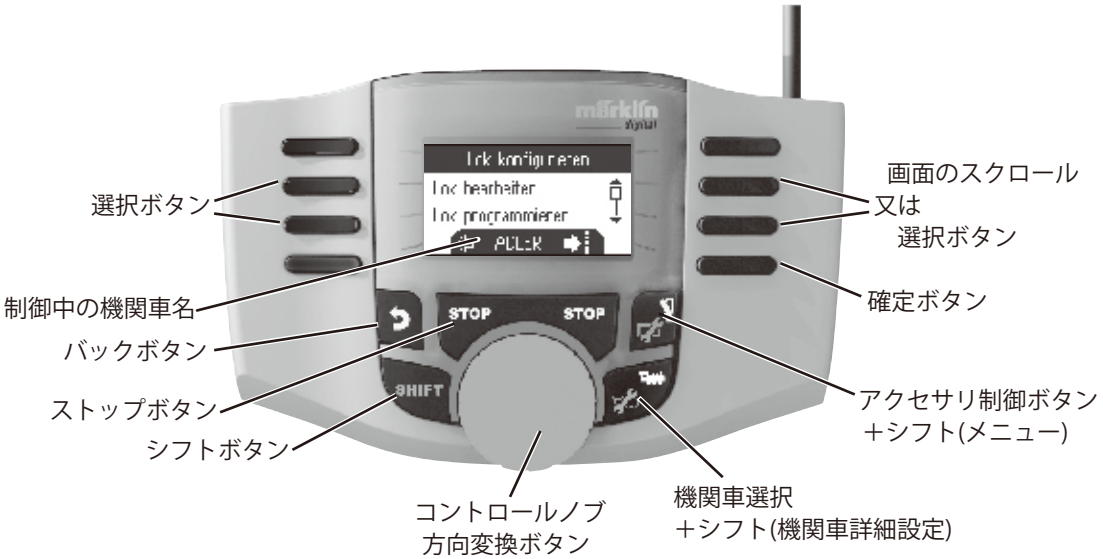
トラックボックスとの接続

準備



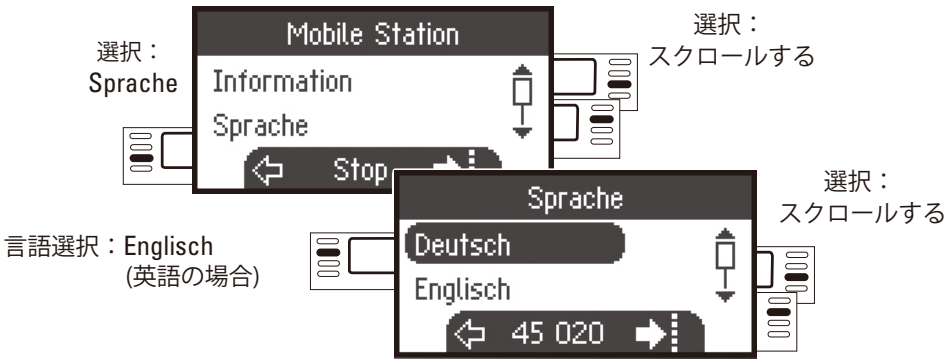
! 1つのレイアウトに、
2台以上のトラックボックスは
接続禁止。

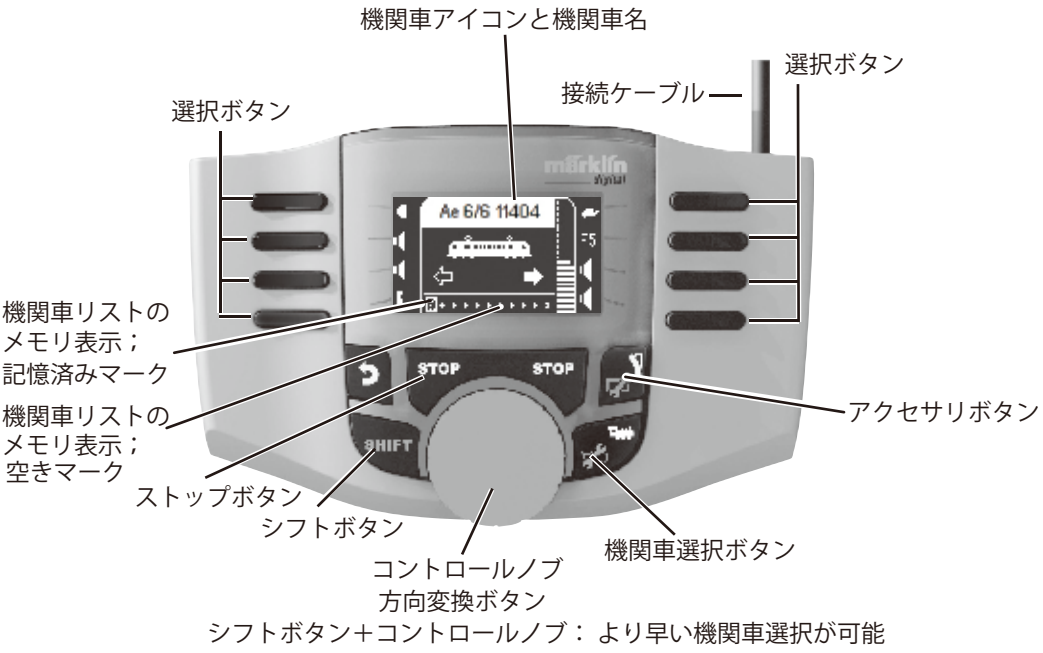
メニュー



モバイルステーションの設定

言語選択





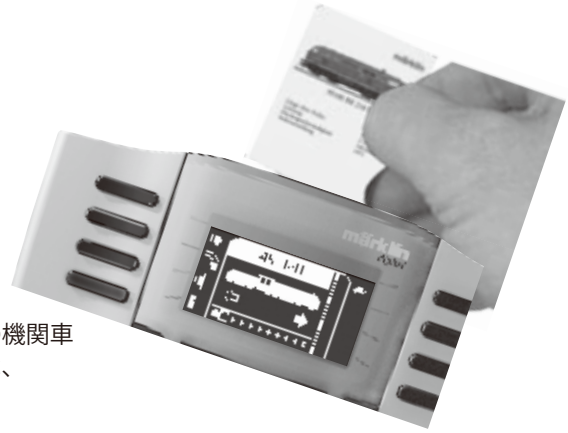
機関車の登録

このボタンを押すことで機関車リストのメモリから選択ができます。

注意: 機関車リストが全て登録された場合は、新しく登録する機関車のために
登録した機関車を消去しなければなりません。 (17ページ参照)

機関車カードからの登録

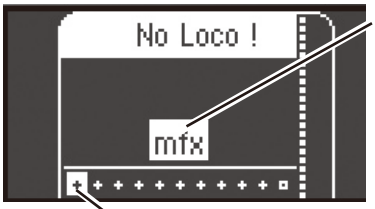
機関車カードを挿入することで
機関車はすぐに運転可能



機関車カード挿入時に、記憶済みの機関車
メモリの場所を選択していた場合は、
次の空きメモリに設定されます。

Ⓜ mfx機関車の登録

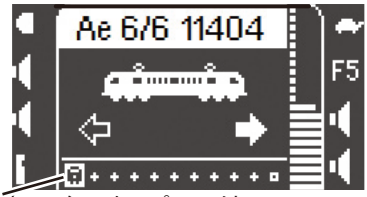
mfxデコーダー付の機関車をレールの上に載せてください。
機関車は以下のイラスト画面のような表示となり、
自動的に登録されます。



登録中は
「点滅」。

mfx 機関車は、
自動的にデータの
読込みを感知します。

機関車リストの
空きメモリのスペース表示。



mfx 機関車は、運転準備が完了し、
運転可能な状態です。

機関車やファンクションのアイコンの変更が
必要、または希望する場合、13ページにある
「メニュー」の„Change Loco“
（機関車設定）で設定できます。

機関車リストのメモリスペースは
登録済みの表示。

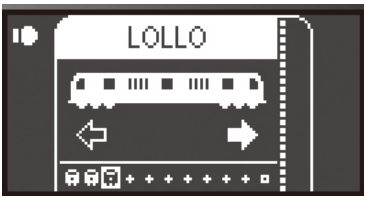
機関車検索登録

! 検索する機関車は、レイアウトのレール上に
1台しか置くことができません。

このボタンを
（場合によっては数多く）
押すことで、空いている
機関車メモリスペースを
見つけ出します。

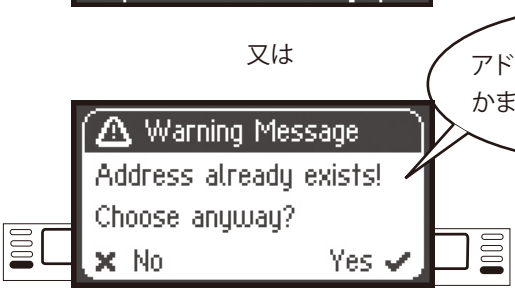
選択：
Find

機関車検索中の画面



検索された機関車が見つかり、機関車リストから
機関車データが表示されることで運転準備が完了。

又は



アドレスが重複しています!
かまわずに登録しますか?

検索された機関車が見つかり、その機関車
アドレスが既に使われていると、自動的に
機関車リストには登録されません。
登録するか否かを選択します。

又は

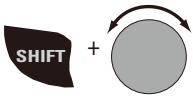
機関車アドレスを見つけられませんでした。
確認ボタンを押した後に、新たに検索を始め
るか、または新しくプログラム行います。
もしアドレスを知っているときはマニュアル
登録を行います。

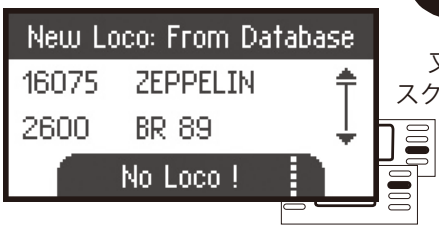
Ⓜ データベースからの機関車登録

このボタンを
（場合によっては数多く）
押すことで、空いている
機関車メモリスペースを
見つけ出します。

選択：
From Database

選択：



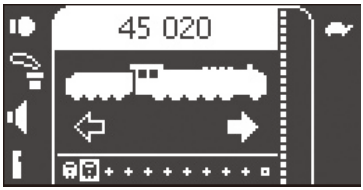


又は
スクロール

データベースから機関車を選択します。

! これは、工場出荷値のアドレスが変更されていない場合のみ機能するものです。

機関車は、機関車リストに登録され
運転可能になります。

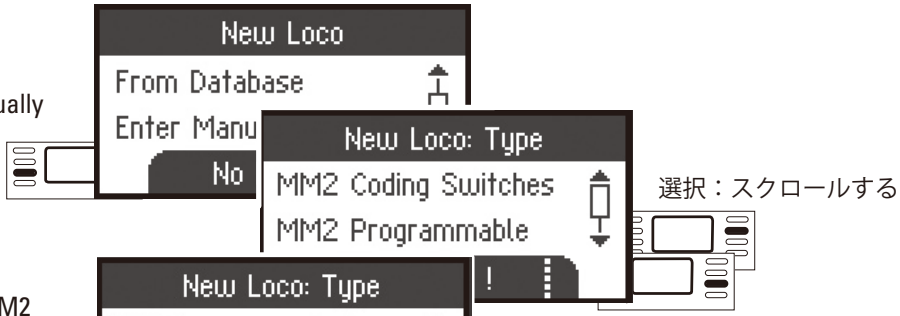


機関車のマニュアル登録

このボタンを
(場合によっては数多く)
押すことで、空いている
機関車メモリスペースを
見つけ出します。

選択：スクロールする

選択：
Enter Manually

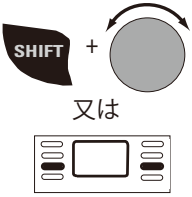


選択：スクロールする

選択：例 MM2
programmable

以下の行われる操作方法は、全てのデコーダーで共通です。デコーダーの選択は後述の機関車の設定手順で効いてきます。例えば、プログラム可能なデコーダーでは、アドレス変更などを機関車側で設定されることになり、DIPスイッチ付きのデコーダーでは、機能しません。

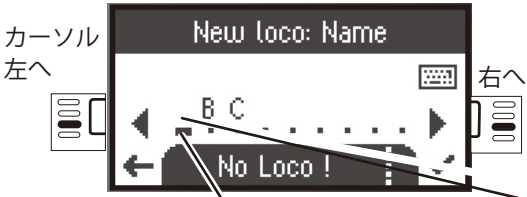
アドレスの選択



アドレス範囲：
DIPスイッチ付き MM2 1- 80
プログラムタイプ MM2 1 - 255
DCC 1 - 9999

アドレス選択後は

確定する

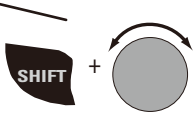


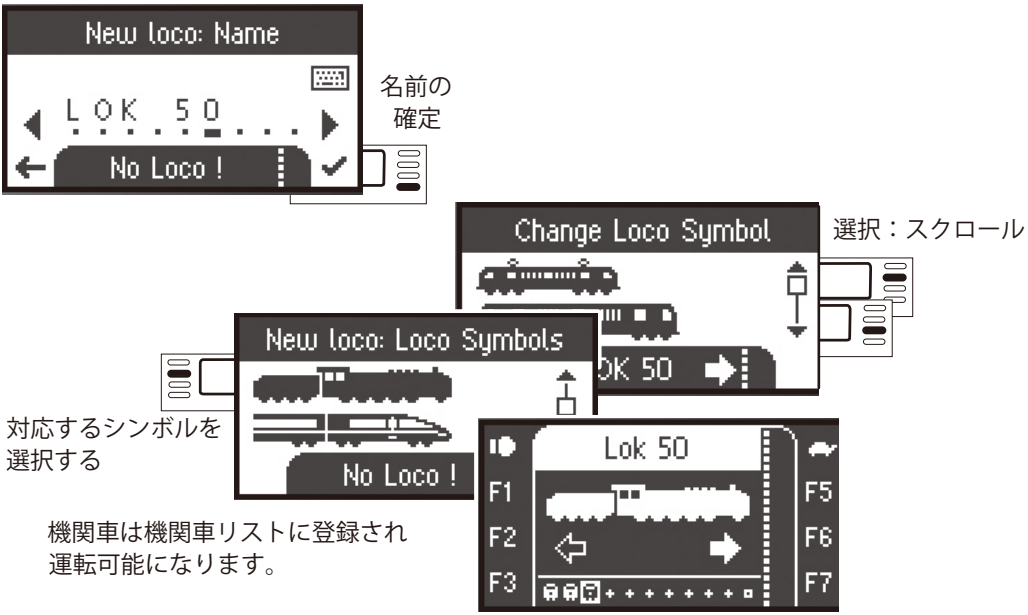
カーソル
左へ

右へ

文字の
選択

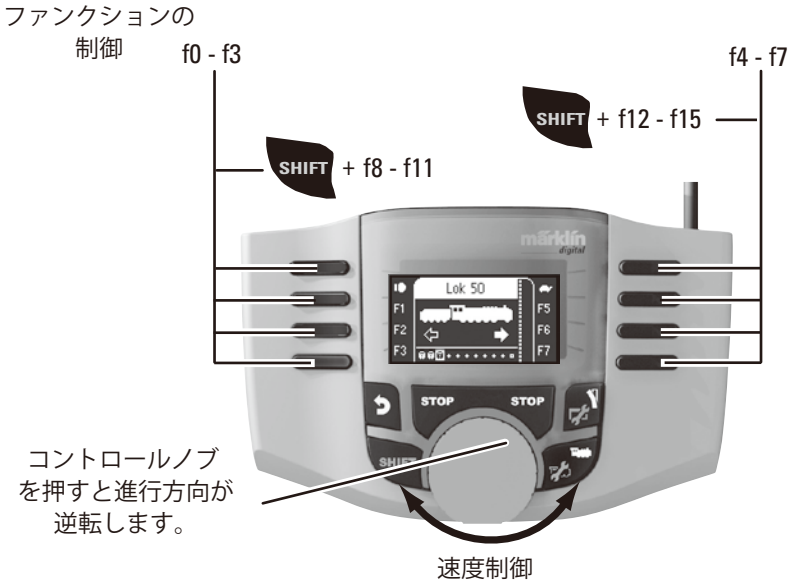
カーソルに挿入する文字や数字を
選択します。





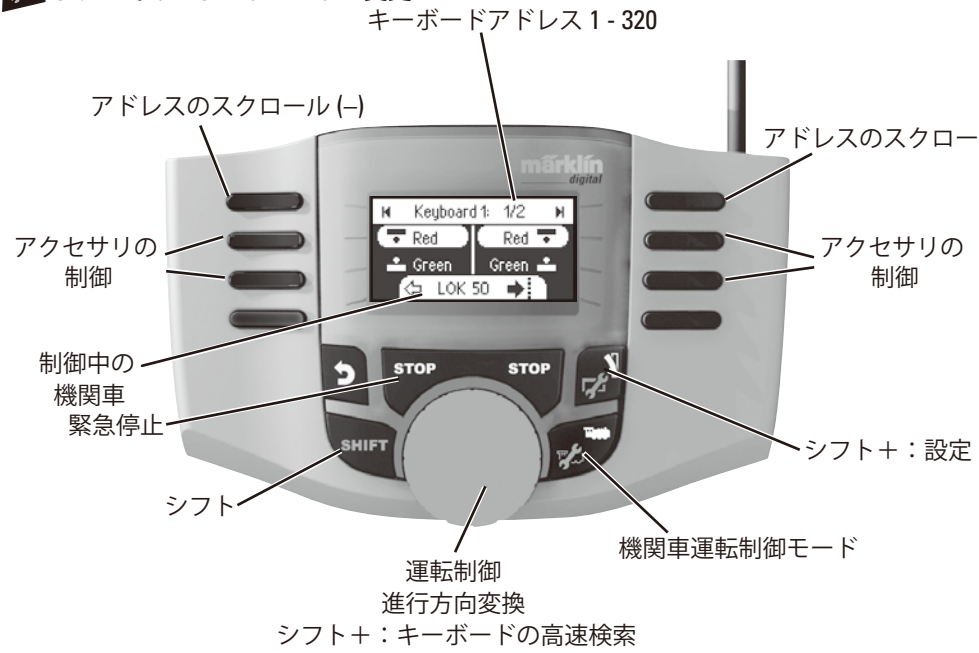
運転制御

登録された機関車は、コントロールノブで運転出来、ファンクション機能は
下図で示したファンクションボタンで制御可能です。



キーボード

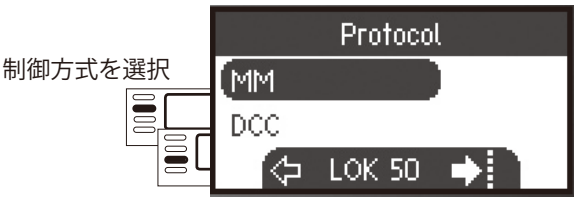
ボタンでキーボードモードに変更



アクセサリのプロトコル（制御方式）

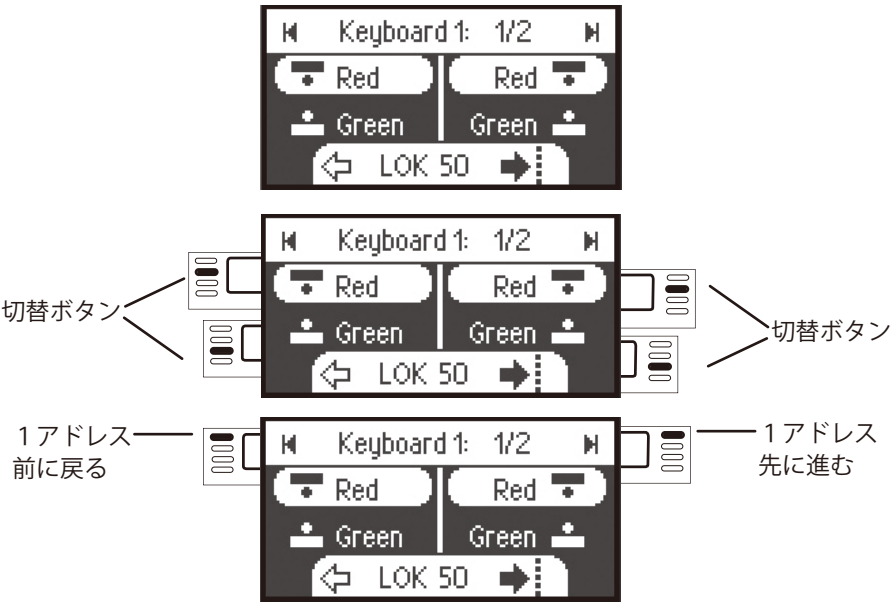
ここでは、機関車の制御方式とは関係なくアクセサリのデータ制御方式を選択します。
初期設定は、メルクリンモトローラ方式となっています。

SHIFT を押しながら を押す



キーボード

標準のシンボルを使用した320の全てのアクセサリが表示されます。
モバイルステーションをセントラルステーションと接続した場合、アクセサリは
セントラルステーションで表示されているものと同様のシンボルで表示されます。
(例外は転車台と色灯式信号機。色灯式信号機は腕木式信号機のシンボルで表示され、
転車台は、アクセサリ用標準シンボルで表示されます。)



最後に運転した機関車の状態がそのまま保たれます。コントロールノブは、
その機関車の運転制御をします。機関車のファンクション制御、または他の機関車を
呼び出したい時は、運転制御モードに切替えます。

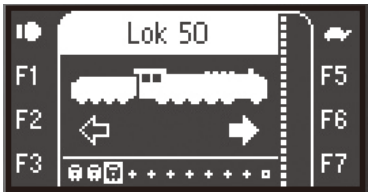
!ヒント

このボタンを押し続けることで
素早い検索が可能になります。

機関車の設定

このメニューは機関車やデコーダーに任意の変更を設定するものです。それは機関車アドレス、機関車名、また多くのCV値の変更などが可能です。このメニューを使って機関車の変更を行う場合は、機関車、またはデコーダーに付属の取扱説明書を良く読んでください。**作業する時は、設定する機関車のみレールに置いてください。**

このメニューでは、選択された機関車がコントロールノブで制御可能であり、変更された設定はすぐに確認できますし、間違っている場合は修正が可能です。



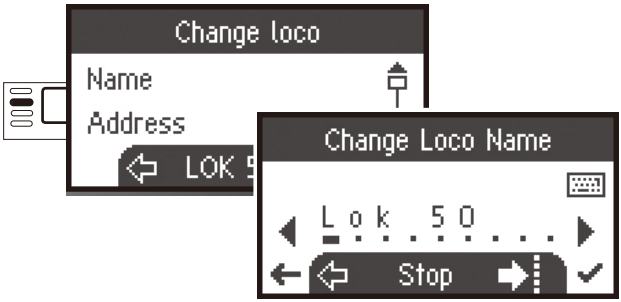
SHIFT を押しながら を押す

選択：
Change Loco

選択： スクロール

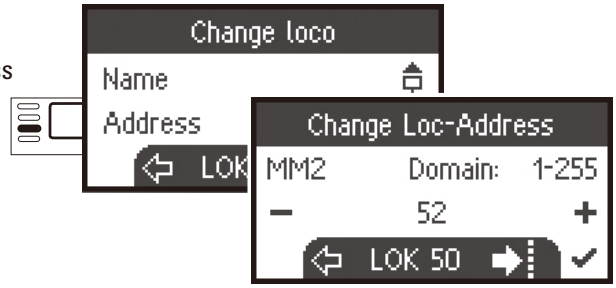
機関車データ編集作業

選択：
Name



作業方法は
9 ページを参照

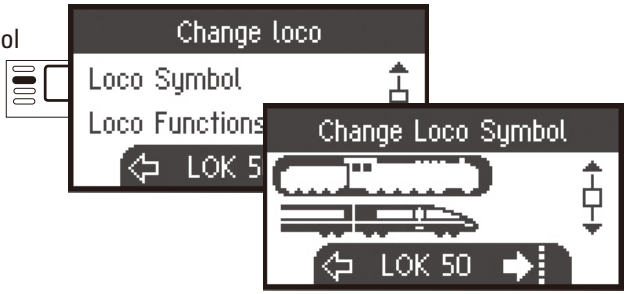
選択：
Address



プログラム可能な
デコーダーのみ編集可能。

作業方法は
9 ページを参照

選択：
Loco Symbol

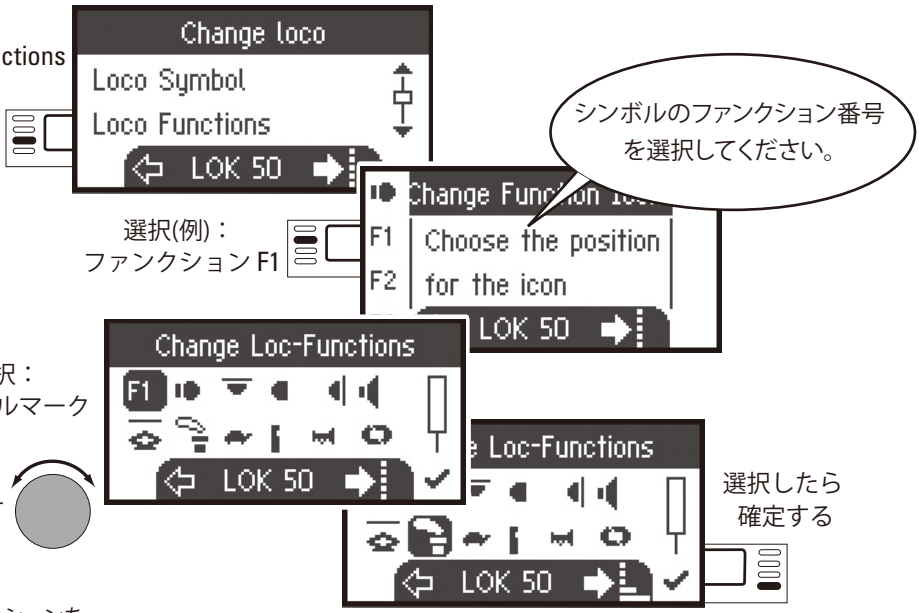


作業方法は
10 ページを参照

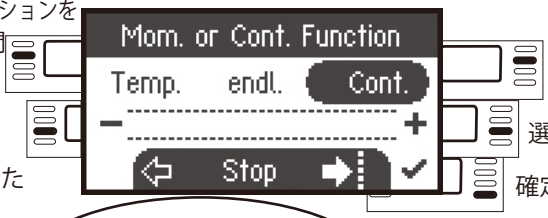
ファンクション

機関車の設定が可能であるかは、取扱説明書を参照のこと。

選択：
Loco Functions



選択：
Temp. (ファンクションを
押している時間
のみ機能する)

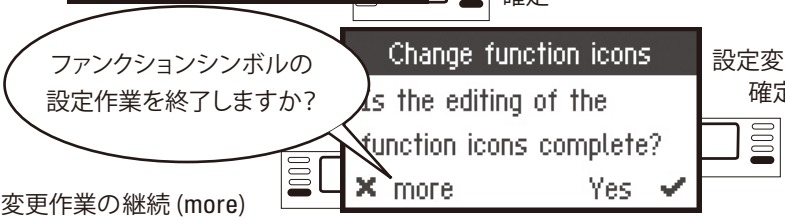


選択：Cont. (ファンクションを
1 度押すと機能が継続される)

選択：時間 (+) (Cont.を選択した
場合のみ)

確定

選択：時間 (-)
(Cont.を選択した
場合のみ)

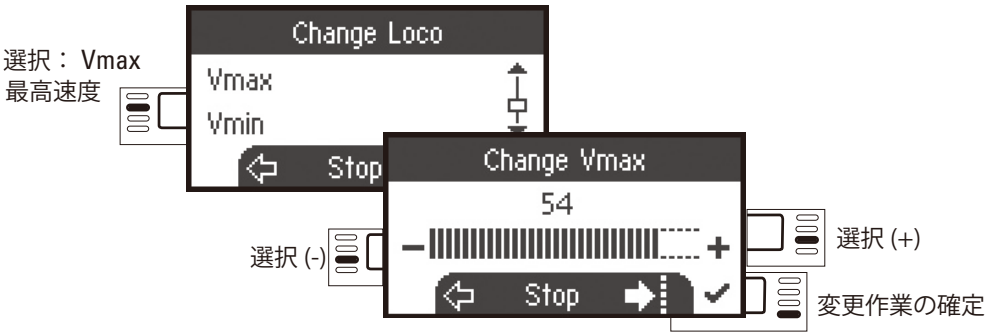


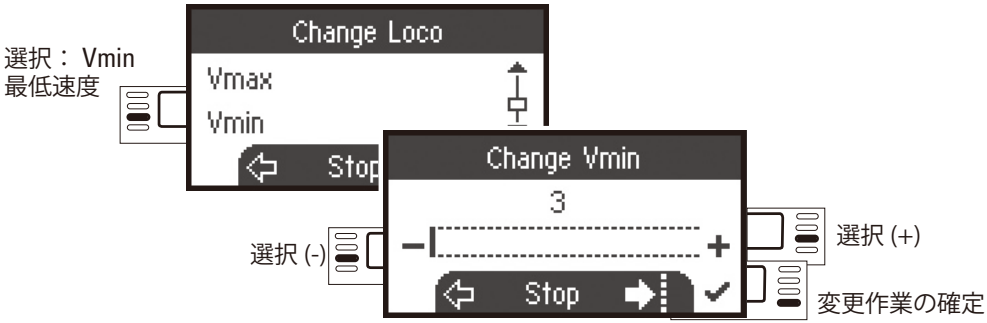
設定変更作業の
確定 (Yes)

設定変更作業の継続 (more)

最高速度 / 最低速度

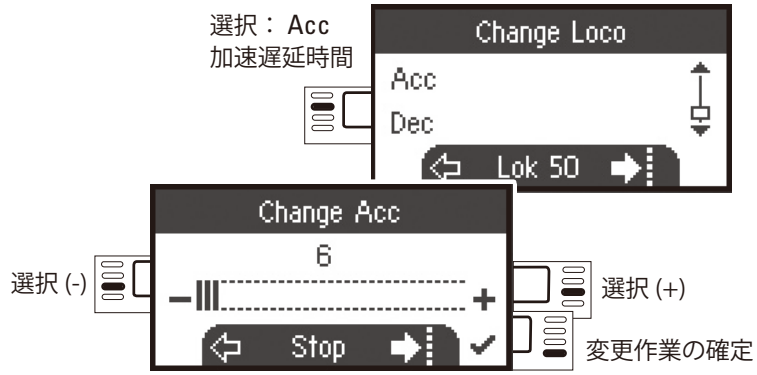
機関車の取扱説明書を読んで、この設定変更が可能かどうか確認してください。

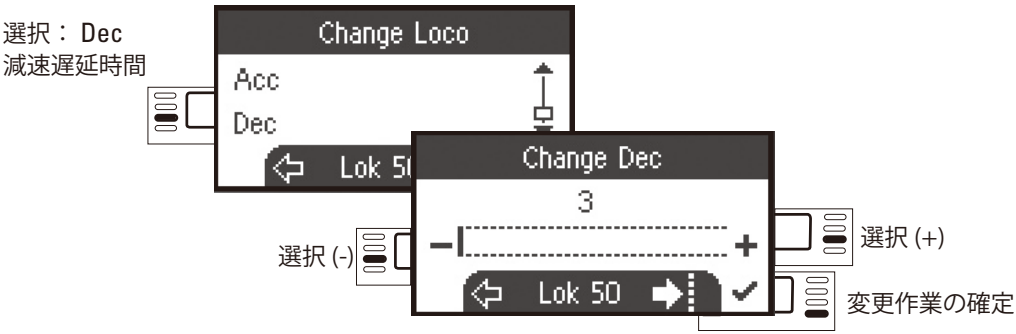




加速遅延時間 / 減速遅延時間

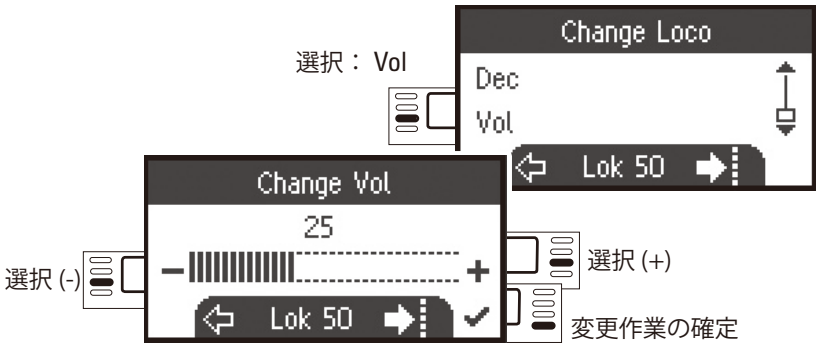
機関車の取扱説明書を読んで、この設定変更が可能かどうか確認してください。





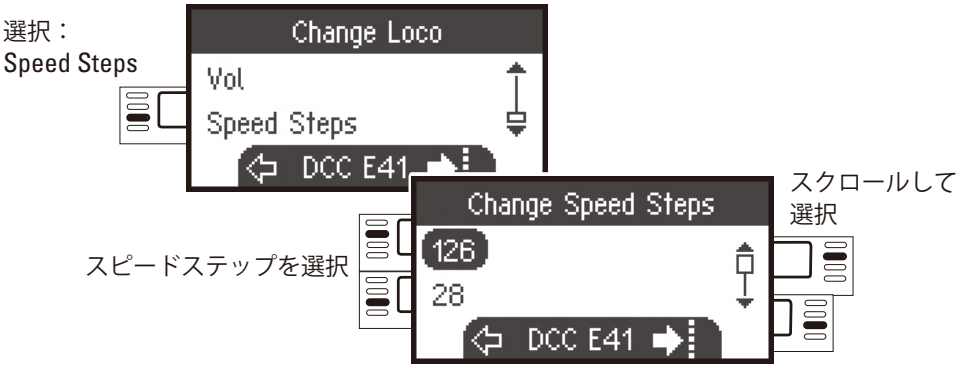
音量

機関車の取扱説明書を読んで、この設定変更が可能かどうか確認してください。

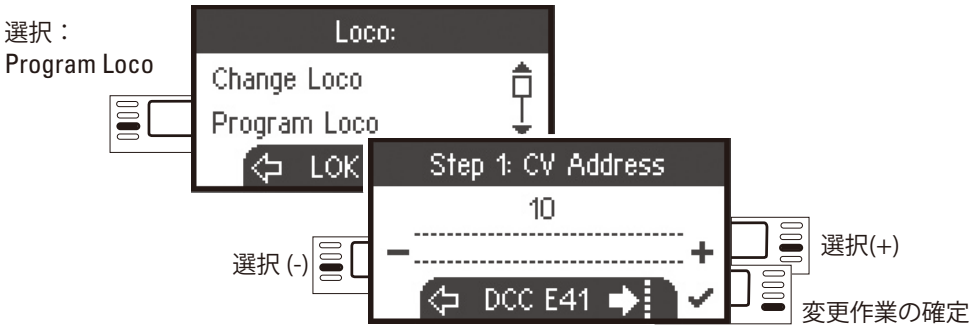


以下の設定変更は DCC デコーダー付きの機関車のみに有効

機関車の取扱説明書を読んで、この設定変更が可能かどうか確認してください。

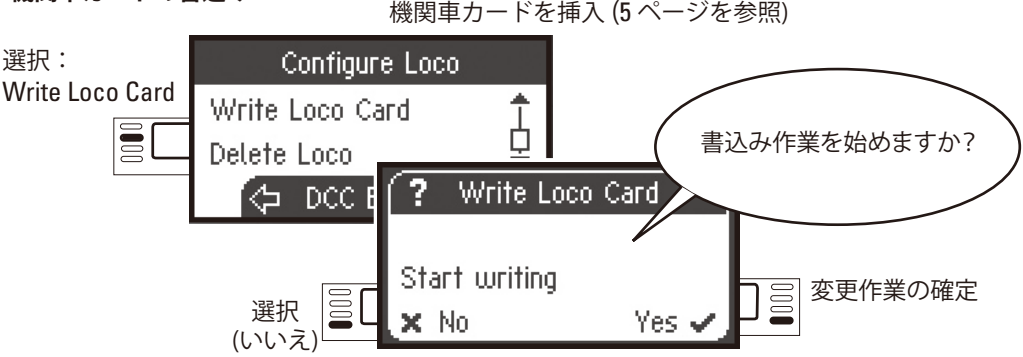


機関車のプログラミング

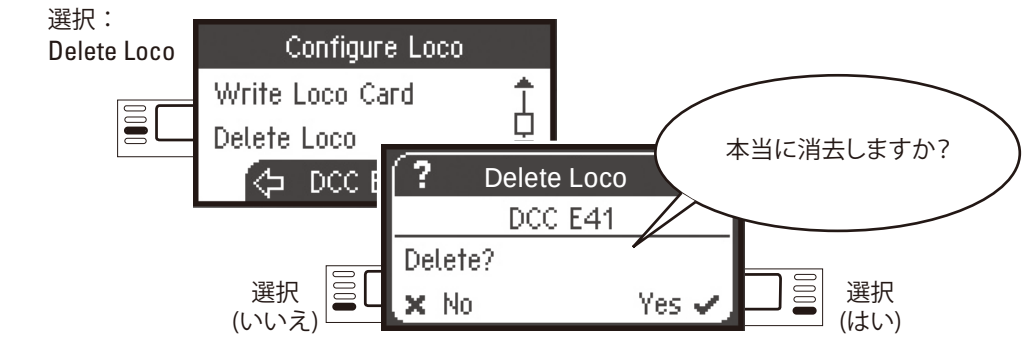


最初に変更するCVアドレス(デコーダー/機関車の取扱説明書を参照)を確認して呼び出します。
CVアドレスが呼び出されたら、次にそのCV値の変更(Step 2)ができ、確定します。
この作業を繰り返すことで全てのCV値の変更が可能です。

機関車カードの書込み

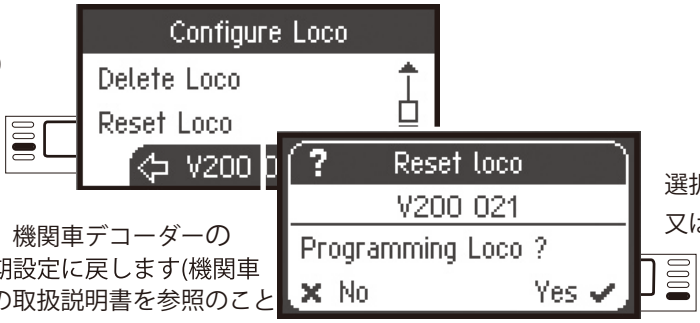


機関車データの消去



機関車データリセット

選択：
Reset Loco



選択：Yes 、
又は No

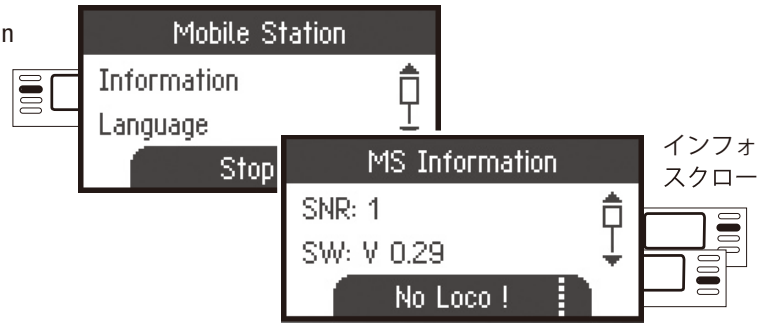
この機能は、機関車デコーダーの
データを初期設定に戻します(機関車
デコーダーの取扱説明書を参照のこと

メニュー

インフォメーション

SHIFT を押しながら を押す

選択：
Information



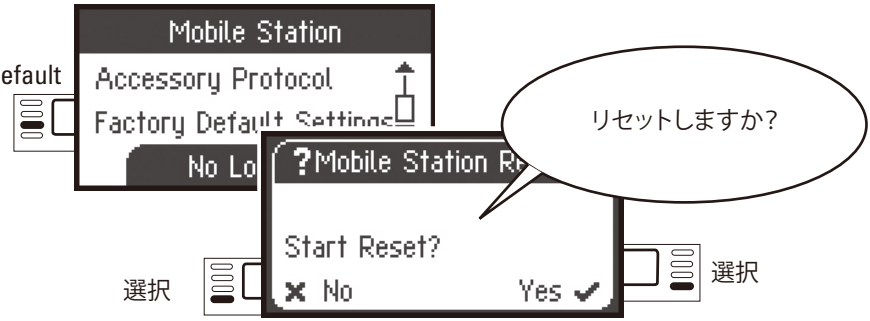
インフォメーション：
スクロールして閲覧

ここでは、製品シリアル番号、ソフトウエア/ハードウエアのバージョン、機関車データ、Can Bus状態の情報を閲覧できます。

リセット

工場出荷値設定

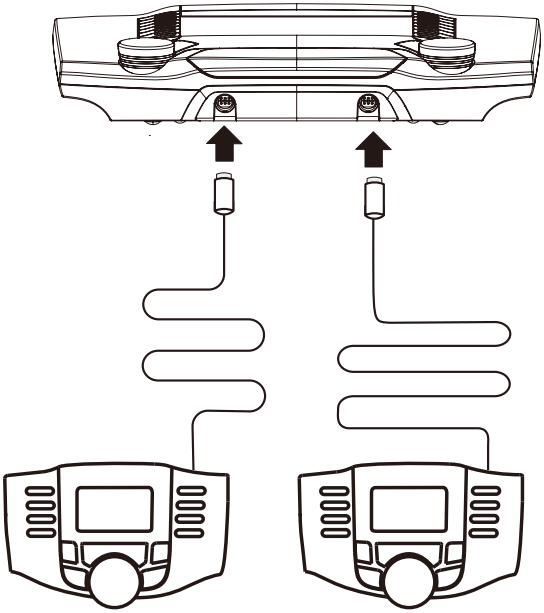
選択：
Factory Default
Settings

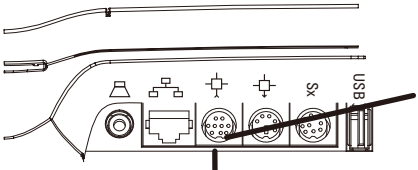


! 重要　リセット時には、全てのデータと設定が消去されます。

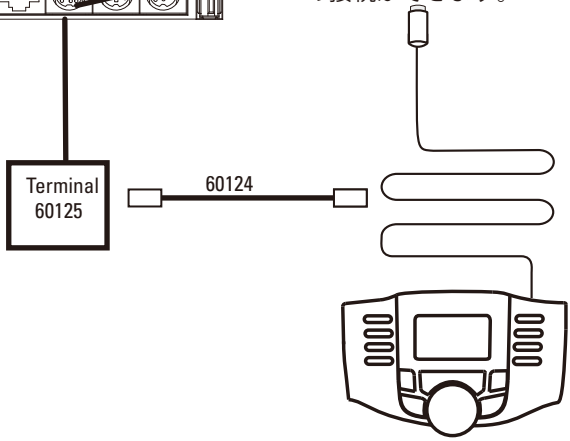
60213/60214 Central Station (セントラルステーション)

セントラルステーションへの接続





60124 アダプタケーブルは、Terminal (60215) を介した他のモバイルステーションへの接続ができます。



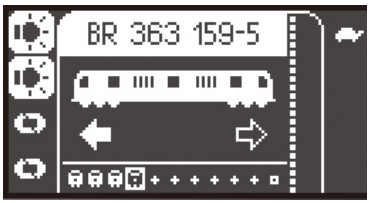
セントラルステーションに登録された機関車の呼出し

SHIFT を押しながら を押す

選択：
From CS 2

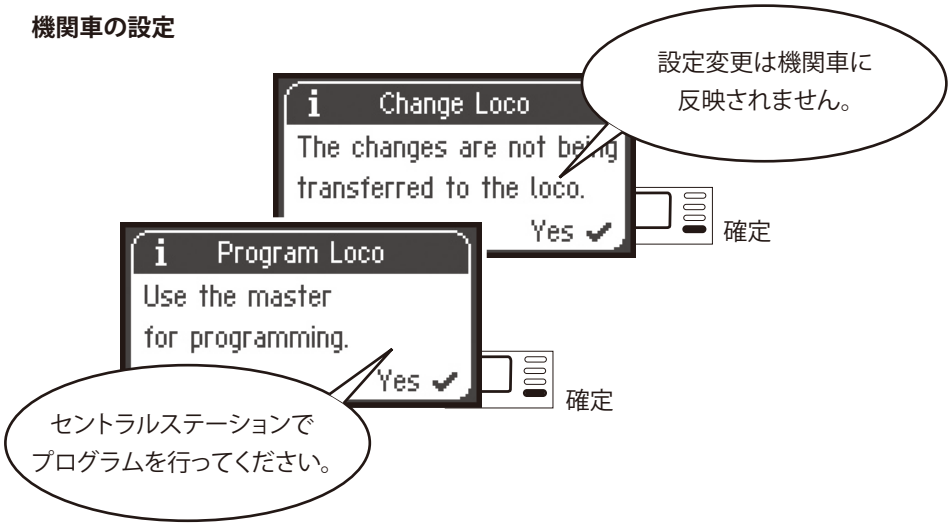
選択例：
BR 363 159-5

スクロールして検索



選択された機関車は、モバイルステーションで運転可能です。

機関車の設定



モバイルステーションをセントラルステーションに接続している時は、機関車の設定ができません。機関車をプログラミングレールに載せた状態で接続されたセントラルステーションのみ設定可能です。